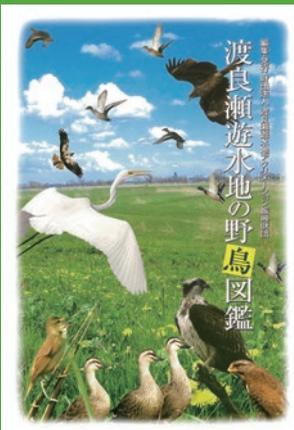




情報を集めましょう

体験活動センターわたらせでは、渡良瀬遊水地内の野鳥の写真などにより、情報を得ることができます。

また、野鳥図鑑や野鳥ガイドブック(1冊100円)なども販売しています。



体験活動センターわたらせ

開館時間 9:30-16:00

TEL 080-8818-9381

休館日 月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12/29-1/3)



野鳥観察会も開催しています。

観察会の情報はこちら

アプリケーション
振興財団HP



ムクドリ

制作：栃木市 2021年3月

監修・写真：渡良瀬遊水地野鳥観察会

問合せ：栃木市渡良瀬遊水地課 0282-62-0919

栃木市
ハートランドweb



ハートランド 野鳥観察マップ



- 1 西赤麻橋
- 2 東赤麻橋
- 3 石川橋
- 4 西谷中橋
- 5 谷中橋
- 6 東谷中橋
- 7 野渡橋
- 8 下宮橋
- 9 新赤麻橋



わたらせナイト

凡	例
	堤防
	一般道
	車両通行可能道路
	水路
	歩行通行可能道路
	観察ポイント

★ ゴミは持ち帰りましょう ★

4 ウォッチングタワー

ヨシゴイ、チュウビ、シジュウカラ、オオジュリン

5 ゴルフ場南

オオヨシキリ、コヨシキリ、ヨシゴイ、ハイロチュウビ、チュウビ、オオセッカ、セッカ、サンカノゴイ

6 ゴルフ場沿い

オオヨシキリ、チュウビ、コチョウゲンボウ、セッカ、ホオジロ

7 池内水路

コガモ、ヨシガモ、ミコアイサ、ハシビロガモ、ダイサギ、アオサギ、オオバン、カワセミ、アオアシシギ、コウノトリ

8 第2排水門

チュウビ、ハイロチュウビ、ノスリ、ミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ

9 鷹見台

ハイロチュウビ、チュウビ、コミズク、コチョウゲンボウ、オオタカ、ノスリ、ミサゴ、チョウゲンボウ

10 第3調節池越流堤付近

ノスリ、オオタカ、ハイタカ

11 湿地再生試験地

サシバ、チュウビ、コミズク、ミサゴ

12 第3調節池巴波川堤防付近

サシバ、チュウビ、ハイロチュウビ、コミズク、コチョウゲンボウ、ハヤブサ、ミサゴ

1 第1排水門南駐車場

コアジサシ、チョウゲンボウ

2 野鳥観察台

チュウビ、ミコアイサ、カワアイサ、カモ類、カンムリカイツブリ、カワセミ、ミサゴ、ハヤブサ、オオタカ

3 史跡保全ゾーン

オオヨシキリ、ツツドリ、ジョウビタキ、ムクドリ、ベニマシコ、シジュウカラ

夏鳥 冬鳥



もちだる

ドルア

クララと子供たち



ラムサール条約湿地

渡良瀬遊水地



野鳥観察&撮影のマナー



栃木市

オオヨシキリ



オオセッカ



コヨシキリ

渡良瀬遊水地の野鳥の現状



日本で確認できる野鳥の約半分の267種(5亜種含む)が確認されています。(2021年現在)

そのうち58種は国指定の絶滅危惧種です。

春には、ウグイスやヒバリがさえずり、初夏には、世界的に貴重なオオセッカが繁殖します。冬にはチュウヒやハイロチュウヒ、コミミズクなどが確認できます。

近年では、ナベヅル、チフチャフ、チュウジシギなど、遊水地での初確認種が多数出現しています。



コミミズク



タゲリ



私たちにできること

- 休息している野鳥を驚かさないう、静かに観察しましょう。
- 野鳥の生態や特性を知ることが大切です。
- 野鳥のみならず、他の利用者や車両に気を配りましょう。
- やさしい気持ちを持って、渡良瀬遊水地のあるがままの自然を楽しみましょう。
- 様々な生き物が生きていける環境を守ることの大切さを意識しましょう



ハイロチュウヒ



カンムリカイツブリ



セイタカシギ



ベニマシコ



コウノトリ



巣には近づかないようにしましょう



子育ての時期などは親鳥はとても神経質になっています。人が近づくことにより、ヒナへの給餌(きゅうじ)をやめてしまったりすることがあります。特に、オオセッカの繁殖地や、チュウヒのねぐらには近づかないようにしましょう。



エサやりなどはやめましょう

人からエサをもらったりすると、野鳥本来が持つエサをとる能力をなくすことになります。また、渡良瀬遊水地の豊かな生態系を乱すこととなります。あるがままの自然の姿を楽しみましょう。



場所選びに気を付けましょう

誰よりも良い場所で観察したい! 撮影したい! 気持ちはわかりますが、他の利用者の通行の邪魔になるような場所はやめましょう。

立入禁止区域には入らないようにしましょう。

駐車に関しては、歩行者や自転車の妨げにならないように駐車してください。また他の車両に配慮し、通行スペースを空けて止めるようにしてください。

地域住民の迷惑にならないよう十分に配慮して駐車してください。



撮影でストロボの使用はやめましょう



野鳥は警戒心がとても強い動物です。ストロボなどの人工照明は、強烈な光を放ちますので、夜間撮影であっても絶対に避けてください。



インターネットへの掲載について

珍しい野鳥の観察情報をネットに発信したりマスコミなどへ提供したりする場合は、その場所に観察する人が集まり、野鳥の生息に悪影響を与えることもあるので、地域での事前相談を行うなど、十分な配慮をお願いします。(日本野鳥の会より引用)



ゴミは持ち帰りましょう

渡良瀬遊水地の豊かな自然環境を守るため、動植物の楽園であることが次世代まで続くようゴミは持ち帰りましょう。



お弁当の食べ残し等が雑食性の生物を増やすことで、自然のバランスに悪影響を与えます。責任を持ってゴミを始末することは、誰でもできる自然保護活動です。

(日本野鳥の会より引用)